



## 2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース		開講時期	2年次	前期
授業科目名	人間学Ⅱ		担当教員名	赤塚 かおり ・ 学生支援課 (1～12,15回) (14回)			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	社会人として必要な基礎知識、ルール、マナーおよび求められる基礎力について、講義、グループディスカッション、講演会、奉仕活動などを通して学ぶ。						
到達目標 (150文字程度)	社会人として必要な基礎知識、ルール、マナーを身につける。 「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の必要性を理解し、普段から心掛け実行する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	課題レポート	取り組み姿勢			
			80%	20%			
教員実務経験	—						
学生へのメッセージ (150文字程度)	立派な社会人として活躍できるように、学んだことを普段から実践し身に付けてください。 また、自分の夢を実現させ幸せになるための具体的な行動を考え、実行する習慣が身に付いたかを振り返り、実社会においても成長し続けてください。						
教科書	書名	人間学		書名			
	書名	社会人基礎力講座		書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について) ※実施時期は適宜設定		
回=90分	項目	内容
1	新社会人講座	(1)良い人間関係を作るには (2)会社の仕組みと組織 (3)社会人としてのマナー
2		
3		
4		
5		
6	社会人基礎力	(1)前に踏み出す力 (2)考え抜く力 (3)チームで働く力 アクティブラーニング(調べる、纏める、発表する)
7		
8		
9		
10※	グループディスカッション	グループディスカッション
11※		
12※		
13※	講演会など	外部講師等による講演または学科教員による講義
14※	コンプライアンス	コンプライアンス
15※	奉仕活動	清掃活動など

## 2022シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目			開講時期		2年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース						
授業科目名	ビジネスマナーⅡ	担当教員名	赤塚 かおり					
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	内定前・内定後にも有効活用できるヒューマンスキルを磨いていきます。社会人としてのスタートに向けた行動変革と実行力を知識および行動の側面から学習します。							
到達目標 (150文字程度)	①就職内定に向けた社会人基礎力を身につける。 ②自己肯定感とチーム力を身につけ、組織人としてスタートを切る力を習得する。 ③社会人としての一般常識マナーを習得する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢	小テスト				
		40%	20%	40%				
教員実務経験	客室乗務員における実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	先輩や同僚から愛される新入社員を目指し、ベーシックマナーと参画意識を身につけましょう。接遇者として、好感度の高いマナーを身につけます。							
教科書	書名	ビジネスマナーの基本ルール			書名			
	書名	マナープロトコルの基礎知識			書名			
参考書	書名	グループ体験学習ワーク			書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)			
回=90分	項目	内容	
1	社会人基礎力	前に踏み出す力 グループワーク①	
2		考え抜く力	
3		チームで働く力 グループワーク②	
4	チームビルディング	自分と向き合うワーク	
5		他者を理解するワーク	
6		双方向コミュニケーション	
7	セルフプロデュース	プレゼンテーション①	
8		プレゼンテーション②	
9	一般常識マナー	ビジネスメール	
10		手紙のマナー	
11		冠婚葬祭①	
12		冠婚葬祭②	
13		社会人常識マナー検定3級①	
14		社会人常識マナー検定3級②	
15	モチベーションマネジメント	自己肯定感	
			レポート

## 2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース		開講時期	2年次	前期
授業科目名	資格取得対策		担当教員名	村山 一成			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	IATA危険物ディプロマ取得を目指す。						
到達目標 (150文字程度)	IATA危険物ディプロマ取得。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	100%				
教員実務経験	エアライン系企業によるグランドハンドリング実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	国際資格取得を目指して前向きかつ積極的に授業に臨んでください。						
教科書	書名	DGR 63th Edition		書名			
	書名	ICAO-IATA危険物規則の抜粋(2018年度版)		書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	IATA危険物ディプロマ試験	IATA危険物ディプロマの試験の概要
2	規則1章、2章	危険物輸送に関わる目的、制限の復習。
3	規則3章	分類及びDangerous Goods Regulationsの使用法の復習。
4	規則4章	識別、危険物リストの復習。
5	規則5章、6章	容器の規格の復習。
6	規則7章	マーキング・ラベリングの復習。
7	規則8章、9章	書類及び取扱いの復習
8	規則10章	放射性物質のカテゴリーの決定方法、マーキング・ラベリング、書類の記入方法の理解の復習。
9	IATA危険物ディプロマ試験対策	過去問題の演習及び解説
10		過去問題の演習及び解説
11		過去問題の演習及び解説
12		過去問題の演習及び解説
13		過去問題の演習及び解説
14		過去問題の演習及び解説
15		まとめ及び確認

## 2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	一般科目				
学科・コース名	エアポートサービス科			開講時期	2年次 前期
授業科目名	英検Ⅱ		担当教員名	荒田 修央	
授業形態	講義	授業時数	120	単位数	8
				選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界に求められる資格の一つである英検を1年次に引き続きレベルアップさせることを目指す。				
到達目標 (150文字程度)	実用英語検定準2級合格または同等能力の獲得を目指す。				
評価方法	定期試験			その他の評価方法	
	筆記試験	レポート	小テスト	課題	取り組み姿勢
	80%		10%	5%	5%
教員実務経験	企業における通訳や仕様書の翻訳などの実務経験				
学生へのメッセージ (150文字程度)	英語に対する苦手意識を払拭し道具としての英語を習得できるよう頑張ってください。				
教科書	書名	ENJOY ENGLISH 高校英語入門		書名	
	書名	英検準2級予想問題ドリル		書名	
参考書	書名	一年時に使用した教科書類		書名	
	書名	英検過去問		書名	

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1		英語による自己紹介、年間目標を英作文
2		英検準2級予想問題ドリル 第1日目 語彙、熟語
3		英検準2級予想問題ドリル 同上
4		英検準2級予想問題ドリル 小テスト
5		英検準2級予想問題ドリル 総括
6		英検準2級予想問題ドリル 第2日目 語彙、熟語
7		英検準2級予想問題ドリル 同上
8		英検準2級予想問題ドリル 小テスト
9		英検準2級予想問題ドリル 総括
10		リスニング、レシテーション
11		Enjoy Reading Unit1~3
12		Enjoy Reading 解説 調べもの
13		Enjoy Reading Unit4~6
14		Enjoy Reading Unit 解説 調べもの
15		Enjoy Reading Unit7から9
16		Enjoy Reading 解説 調べもの
17		英検準2級予想問題ドリル 第3日目 語彙、熟語
18		英検準2級予想問題ドリル 同上
19		英検準2級予想問題ドリル 小テスト
20		英検準2級予想問題ドリル 総括
21		英検準2級予想問題ドリル 第4日目 語彙、熟語
22		英検準2級予想問題ドリル 同上
23		英検準2級予想問題ドリル 小テスト
24		英検準2級予想問題ドリル 総括
25		英検準2級予想問題ドリル 第5日目 語彙、熟語
26		英検準2級予想問題ドリル 同上
27		英検準2級予想問題ドリル 小テスト
28		英検準2級予想問題ドリル 総括
29		英検準2級 過去問演習
30		英検準2級 過去問解説

回=90分	項目	内容
31		英検準2級 過去問リスニング リピート
32		英検準2級 総括
33		英検準2級 予想問題ドリル 第6日目 語彙、熟語
34		英検準2級 予想問題ドリル 同上
35		英検準2級 予想問題ドリル 小テスト
36		英検準2級 予想問題ドリル 総括
37		英検準2級 予想問題ドリル 第7日目 語彙、熟語
38		英検準2級 予想問題ドリル 同上
39		英検準2級 予想問題ドリル 小テスト
40		英検準2級 予想問題ドリル 総括
41		英検準2級 過去問演習
42		英検準2級 過去問解説
43		英検準2級 過去問リスニング リピート
44		英検準2級 総括
45		Enjoy Reading Unit10~11
46		Enjoy Reading Unit 解説 調べもの
47		Enjoy Reading Unit12~13
48		Enjoy Reading 解説 調べもの
49		Enjoy Reading アルファベットで遊ぼう
50		Enjoy Reading Unit14~15
51		Enjoy Reading 解説 調べもの
52		Enjoy Reading coffee break 3
53		英検準2級 過去問演習
54		英検準2級 過去問解説
55		英検準2級 過去問リスニング リピート
56		英検準2級 総括
57		リスニング・レシテーション コンテスト
58		英検準2級 過去問解説
59		英検準2級 過去問リスニング リピート
60		英検準2級 総括

## 2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目	
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース	
開講時期	2年次 前期		
授業科目名	エアラインビジネス	担当教員名	エアポートサービス科常勤教員
授業形態	講義	授業時数	30
		単位数	2
		選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 航空業界の最新動向やトレンドを動画や記事等を通じて学び、日本・世界の航空業界の現状と課題を認識する。 2. 激動する航空業界において、航空業界を取り巻く環境と構造的な課題について理解を深める。		
到達目標 (150文字程度)	航空業界が日本・世界の様々な政治・経済・社会的な動きに連動し、大きく変動する要素を抱える業界であることを正確に理解し、その最新動向について十分な知識と理解を得ることを目標とする。		
評価方法	定期試験		その他の評価方法
	レポート	取り組み姿勢	
	90%	10%	
教員実務経験	エアラインでの総合的な実務経験		
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空系各企業への入社を目前に控え、航空業界に今後身を置くものとして時事的な話題にも関心を高め、理解を深めることに主眼を置いて受講頂きたい。		
教科書	書名		書名
	書名		書名
参考書	書名		書名
	書名		書名

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明
2	航空業界の最新動向の把握と理解	航空業界の最新動向・トレンドの把握と理解 ①航空業界の最新動向を取り上げた動画を題材としたレポートの作成またはディスカッションの実施 ②新聞記事やWEBニュースを題材とした航空業界の最新動向の把握とテーマディスカッションの実施
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9	航空業界の外部環境と構造的課題	航空業界を取り巻く外部環境の大幅な変化と今後の見通しについての解説 政治・経済・社会的動向に大きく左右される航空業界の構造的課題についての理解
10		
11		
12		
13		
14		
15	まとめ	本講義の総括

## 2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目				開講時期	2年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース				
授業科目名	空港業務知識Ⅱ		担当教員名	村山 一成			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	① 人間の行動特性から起こりうるヒューマンエラーの意味を理解し、そのエラーコントロール手法を習得する。 ② エラー防止の実践と定着をめざす。 ③ 企業における安全風土の意識づくりの重要性を理解する。						
到達目標 (150文字程度)	人はエラーを起こしやすくエラーから事故に繋がる。そのメカニズムを理解し空港内で仕事を安全に遂行するための基礎知識を習得する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験		取り組み姿勢				
	90%		10%				
教員実務経験	エアライン系企業によるグランドハンドリング実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港で業務に携わる者として身につけておく知識を積極的に吸収してください。						
教科書	書名	HF's訓練パワーポイント		書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	ヒューマンファクターズについての進め方及び評価方法
2	HF's基本原理	ヒューマンファクターズの基礎
3	ヒューマンファクターズとは	人間の要素と行動思考との関連性を理解
4	人間の特性	人間の脳の情報処理
5		メカニズムを理解
6	エラーの分類と対策	エラータイプの理解
7		エラーを増加させる要件
8	バイオレーション	バイオレーションの理解と防止
9	環境・健康と安全	環境が安全行動に及ぼす影響を理解
10		健康が安全行動に及ぼす影響を理解
11	チームコーディネーション	多人数で「行動することのメリットを学ぶ
12		
13	エラー防止の実践法	エラーコントロールを理解
14	ケーススタディ	エラーの防止法について理解
15	グループ討議、発表	ビデオ視聴によるエラーの発見と対処についてグループごとに討議。結果を発表し各個人の理解力を深める。



## 2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース						
授業科目名	空港業務知識Ⅲ	担当教員名	田中 陽彦					
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	各担当の業務上の知識だけに留まらず、空港施設や空港内における様々な規則、ルールについての理解を深める。							
到達目標 (150文字程度)	空港内における様々な規則、ルールを理解すると共に業務間の繋がりを相互理解する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	100%					
教員実務経験	空港内に於いての実務経験者							
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港業務に関する幅広い知識の習得に積極的に取り組んでください。							
教科書	書名		書名					
	書名		書名					
参考書	書名		書名					
	書名		書名					

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	空港特性	現行各航空会社で運用されている機種の説明と用途について
2		航空機を運航するにあたっての各関連セクションとの繋がりについて
3		日本国内で旅客便が就航している空港の特性と問題点について
4		各空港における規則の相違点について(空港特性)
5		空港保安に関する過去事例と対策について
6	空港内における異常時の対応	空港内における気象に関する各警報の意味と対応方法について
7		航空機出発作業時に遅延した際の遅延理由コードの構成と意味及び時間管理の重要性について
8		各機種で決められている標準作業工程と各セクションの役割について
9		悪天候下において空港がどのように運用されているのかについて
10	空港内の保安と安全	航空貨物扱いの危険物と手荷物扱いの危険物取扱上の相違点について
11		新聞等にて報じられる航空業界の事例について
12		空港内に於いて発生した過去の事故・イレギュラー事例を取り上げ原因と対策を研究する
13	航空業界について	日本の航空輸送の現状と今後の発展について
14		日本国内における空港の現状と今後の展開について
15	まとめ	総括

## 2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目				開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース				
授業科目名	コンピュータ実践		担当教員名	井戸 法子			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワープロソフト(Microsoft Word)、表計算ソフト(Microsoft Excel)の基礎的な使用方法を習得する。</li> <li>・プレゼンテーションソフト(Microsoft Power Point)で資料の作り方を習得する。</li> <li>・コンピュータネットワークの基礎知識とウィルス対策を学習する。</li> </ul>						
到達目標 (150文字程度)	パーソナルコンピュータの仕組みを理解し、空港業務に活かせる基本的スキルを習得する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	授業ワーク				
	50%		50%				
教員実務経験	エアライングループ会社での品質管理実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港業務でも報告書や提案書、ご案内文を作成する機会は多々あります。Windows10のパソコンを使用し、繰り返しの実践で基本的な操作に慣れ、書類作成でも即戦力となれるよう取り組んでください。						
教科書	書名	なし			書名		
	書名				書名		
参考書	書名	J検情報活用3級完全対策公式テキスト			書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	コンピュータ教室の使い方、コンピュータ関連の基礎用語
2	パソコン基礎	キーボード操作(タッチタイピング練習)
3	コンピュータネットワーク基礎	ネットワークの種類
4	インターネットとウィルス対策	インターネットの構成
5		コンピュータの脆弱性の理解とウィルス対策
6	ビジネスメール	ビジネスメールの基本、署名の作り方
7		ビジネスメール(日本語、英語)
8	Word	Wordの基本操作、書類の作成
9		
10	Excel	Excelの基本操作、基本的な関数
11		グラフ作成、データ管理
12	Power Point	Power Pointの基本操作
13		資料の作り方、見せ方、デザイン
14		Power Point課題① プレゼンテーション資料作成
15		Power Point課題② グリーティングカード作成

## 2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース					
授業科目名	コミュニケーション実践		担当教員名	赤塚 かおり				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	伝える力としての非言語・言語表現力を、【文章作成】【シーン別会話】【プレゼンテーション】を中心に、テーマ別に学び、社会人基礎力の基本を体得する。							
到達目標 (150文字程度)	双方向コミュニケーション・論理性・語彙力に重点を置き、自己と他者の差異を超え、グローバルに協働できるコミュニケーション力を身に付ける。自分の伝えたこと＝相手に伝わること、相手が伝えたいことを正しく理解することに近づける。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	授業ワーク					
		50%	50%					
教員実務経験	国内線・国際線客室乗務員経験。航空会社にて、機内サービス部門、管理業務経験あり。							
学生へのメッセージ (150文字程度)	社会人デビューに向けて、コミュニケーション力に磨きをかけます。ワークを通し、自己本位のコミュニケーションから、相手が理解しやすいコミュニケーション力へとマインドセットしていきましょう。							
教科書	書名	なし			書名			
	書名				書名			
参考書	書名	コミュニケーション・スキルの学び			書名	文章力の基本の基本		
	書名	雑談力が上がる話し方			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)			
回=90分	項目	内容	
1	ガイダンス	相手をイメージした双方向コミュニケーション	
2	【文章作成①】	話し言葉と書き言葉 ワーク①	
3	【文章作成②】	文の基本形・簡潔に書く ワーク②	
4	【文章作成③】	わかりやすく・的確に書く ワーク③手順の説明	
5	【文章作成④】	共感を得る・メタファー	
6	【会話の基本①】	雑談力	
7	【会話の基本②】	会議の司会進行をする・発言をする	
8	【会話の基本③】	敬語	
9	【異文化理解①】	日本の文化	
10	【異文化理解②】	世界の風習	
11	【演習①】	説明力	合同演習
12	【演習②】	分かりやすい資料作成2	合同演習
13	【演習③】	アンコンシャスバイアス	合同演習
14	【演習④】	グループディスカッション	合同演習
15	【演習⑤】	チームビルディング	合同演習

## 2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース					
授業科目名	貿易概論		担当教員名	エアポートサービス科常勤教員				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港スタッフとして、知るべき最低限の貿易実務と航空貨物に関する知識について学習する。							
到達目標 (150文字程度)	貿易、物流経済の学習を通じ、国際感覚の醸成と会社経営的視点を養う。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	レポート		取り組み姿勢					
	80%		20%					
教員実務経験	エアライン企業における実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港実業務に直結するしないに拘わらず、業界人、社会人としての基礎知識と理解して取り組んでください。							
教科書	書名		書名					
	書名		書名					
参考書	書名		書名					
	書名		書名					

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	本講義全般の内容構成と意義・目的の説明
2	業界トレンド解説	航空業界のトレンドを取り上げ、業界の最新事情につき解説する
3		
4		
5	貿易関連	貿易とは、貿易統計、空運と海運、貿易のリスク、貿易の流れ・形態、通貨・為替、円相場、GDPなど
6		
7		
8	航空貨物輸送・通関関連	航空貨物輸送の実情、米国と日本の輸送形態の相違、税関の役割・管轄など
9		
10	財務諸表	財務諸表(PL, BS, CF)解説
11	合同プレゼンテーション	2クラス合同による合同プレゼンテーション
12		
13		
14		
15	本講義のまとめ	本講義のまとめ

## 2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		グラウンドハンドリングコース					
授業科目名	ロードコントロール II		担当教員名	吉川 勝巳				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空機の重量と重心位置管理の重要性について理解する。 ロードコントロール業務を通じて、空港業務を理解する。							
到達目標 (150文字程度)	重量と重心位置管理の算出 搭載計画とWeight&Balance Manifestの作成 ロードコントロールと空港業務との関係性の理解							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢					
	90%		10%					
教員実務経験	エアライン企業におけるロードコントロール実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	ロードコントロール I で学んだことを深め、企業で生かせる知識を身につけましょう。							
教科書	書名				書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ロードコントロール I	ロードコントロール概要
2	復習	航空機重量とWeight&Balance Manifest (Remind)
3	搭載計画・ Weight&Balance Manifest 演習	搭載計画・INDEX方式Weight&Balance Manifest (A320neo)
4		搭載計画 (B787)
5		INDEX方式Weight&Balance Manifest (B787)
6		Weight&Balance Manifest ALIGNMENTとINDEX
7	空港業務との繋がり	フライトプランとロードコントロール
8		空港業務とWeight&Balanceの関係(オペレーション部門)
9		空港業務とWeight&Balanceの関係(旅客ハンドリング)
10		空港業務とWeight&Balanceの関係(グラウンド・貨物ハンドリング)
11		ヒューマンファクター
12	ロードコントロール	航空機事故事例紹介
13	応用	フレーター・航空力学
14	ロードコントロール	重量と重心位置まとめ
15	総復習	空港業務とロードコントロール

## 2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次		前期		
学科・コース名	エアポートサービス科			グランドハンドリングコース							
授業科目名	グランドハンドリング業務Ⅱ			担当教員名	田中 陽彦						
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修				
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	多様化するグランドハンドリング業務において、整備補助業務の作業内容と搭降載業務以外の地上支援業務の基礎知識を学ぶ。										
到達目標 (150文字程度)	地上支援業務と整備補助業務の内容を理解し、航空機を安全にハンドリングするための基礎知識を習得する。										
評価方法	定期試験			その他の評価方法							
	筆記試験	レポート	取組み姿勢								
	80%		20%								
教員実務経験	グランドハンドリング業務実務経験者										
学生へのメッセージ (150文字程度)	グランドハンドリング業務に携わる者として、搭降載業務以外のセクションの知識と関係および整備補助業務についての知識を積極的に吸収して下さい。										
教科書	書名	航空機のグランドハンドリング				書名					
	書名					書名					
参考書	書名					書名					
	書名					書名					

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	復習	1年次に学んだ内容の確認
2	誘導作業	マーシャリング及びウイングウォッチ作業の重要性和合図・動作について
3	搭載・取り卸し作業	各機種の旅客乗降ドアの構造と操作方法について
4		各機種のCARGO DOORの構造と機構・操作方法について
5		航空機への搭載・取り卸し作業について
6		貨物便と旅客便における搭載/取り卸し作業工程の違いについて
7		旅客便と貨物便の危険物輸送の相違点について
8	その他地上支援業務	機体地上サービスに関わる作業の種類と内容について
9	その他地上支援業務	客室サービス作業の種類と内容及び時間管理について
10	その他地上支援業務	機体の除雪・防氷作業の必要性と種類及び意義について
11	関連知識	航空機の運航パターンと運航スケジュール表の見方から時刻管理の重要性について
12	安全	空港安全講習に備えて空港規則を理解する
13		過去に発生した空港内での不安全事象の発生原因と対策を考え安全に対する意識向上を図る
14		過去に発生した空港内での不安全事象の発生原因と対策を考え安全に対する意識向上を図る
15	まとめ	総括

## 2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科	グラウンドハンドリングコース						
授業科目名	グラウンドハンドリング実習Ⅱ-1	担当教員名	田中 陽彦・村山 一成・竹田 啓一・田中 敏・富田 明浩					
授業形態	実習	授業時数	120	単位数	3	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港内におけるグラウンドハンドリング業務全般の実技及び車両機材の走行、操作をより実践に合わせた形で知識を習得する。							
到達目標 (150文字程度)	車両の点検方法、特性を理解し、フォークリフト、ベルトローダー、ハイリフトローダーの走行、操作、装着技術を習得する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	実技試験	取組み姿勢				
			90%	10%				
教員実務経験	航空会社におけるグラウンドハンドリング業務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港における機側周りで使用される本物の車両、器材を専用実習場にてより実践に近い形で習得します。							
教科書	書名	航空機のグラウンドハンドリング			書名			
	書名				書名			
参考書	書名	教員作成のグラウンドハンドリングテキスト			書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~10	フォークリフト (FL)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>FL車の性能諸元や荷役機能の特性、取り扱い上の注意点、点検方法を理解する。</li> </ul> <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>走行前の保守点検方法を理解し、点検用紙の記入方法を学ぶ。</li> <li>FL車特有の機能、取り扱いの基礎を理解する。(後輪操舵による走行時の注意点、荷役作業時の注意点、ディーゼルエンジンの始動方法)</li> <li>走行、荷役操作における確認ポイントの理解。</li> <li>車両誘導方法を理解する。</li> <li>貨物の積み付け、移動が単独で行えるよう技術を習得する。</li> </ul>
11~15	ベルトローダー (BL)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車両の特性、貨物移送装置の特性、取り扱い上の注意点、点検方法を理解し、機体への装着における走行操作の注意点を理解する。</li> </ul> <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンルーム内の点検、外観からブレーキ機能、ヘルム部の著しい損傷がないかの点検方法を理解する。</li> <li>機体への装着時の注意点を理解し、走行、操作方法を習得する。</li> <li>バラ積み貨物の機内への搭載方法を理解する。</li> <li>運転手と誘導者とはどの連携方法を理解し、円滑な操作が出来るよう技術を習得する。</li> </ul>
16~40	プッシュバック作業 (VR)	<ul style="list-style-type: none"> <li>VRを使用しての実習についての趣旨を理解する。</li> <li>VRを使用してPBについて理解する。</li> <li>VR内にて機体を安定して真つすぐ押し出せる技術を確認、理解する。</li> <li>VRの特性を活かし、何故禁止であるか、何故危険であるかを疑似体験する。</li> </ul>
41~60	ハイリフトローダー (HL)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車両の特性、諸元を理解し、走行並びに機体への装着、離脱における注意点、確認のポイントを理解する。</li> </ul> <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンルーム内点検、外観から車両の異常、ローラー、ストッパー、等の著しい損傷がないかの点検を実施。</li> <li>取り扱う上での注意点を理解し、操作方法を理解する。</li> <li>機体への装着時の注意点を理解し、走行、操作方法を習得する。</li> <li>CD、PDを実際にHLに搭載し、各操作類の取り扱いを理解する。</li> <li>操作者と誘導者との連携方法を理解し、円滑な操作が出来るよう技術を習得する。</li> </ul>

## 2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目				開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		グラウンドハンドリングコース				
授業科目名	グラウンドハンドリング実習Ⅱ-2		担当教員名	田中 陽彦・村山 一成・竹田 啓一・田中 敏・富田 明浩			
授業形態	実習	授業時数	120	単位数	3	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港内におけるグラウンドハンドリング業務全般の実技及び車両機材の走行、操作をより実践に合わせた形で知識を習得する。						
到達目標 (150文字程度)	車両の点検方法、特性を理解し、フォークリフト、ベルトローダー、ハイリフトローダーの走行、操作、装着技術を習得する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	実技レポート	取組み姿勢			
			70%	30%			
教員実務経験	航空会社におけるグラウンドハンドリング業務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港における機側周りで使用される本物の車両、器材を専用実習場にて、より実践に近い形で習得します。						
教科書	書名	航空機のグラウンドハンドリング			書名		
	書名				書名		
参考書	書名	教員作成のグラウンドハンドリングテキスト			書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~20	トローイングトラクター (TT)  ベルトローダー (BL)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両の特性、貨物移送装置の特性、取り扱い上の注意点、点検方法を理解し、機体への装着における走行操作の注意点を理解する。</li> <li>・パレット連結を誘導者と共に安全に実施出来るよう技術を習得する。</li> <li>・パレット連結をした状態で搬送及び駐車が出来よう技術を習得する。</li> <li>・エンジンルーム内の点検、外観からブレーキ機能、ベルト部の著しい損傷がないかの点検方法を理解する。</li> <li>・機体への装着時の注意点を理解し、走行、操作方法を習得する。</li> <li>・バラ積み貨物の機内への搭載方法を理解する。</li> <li>・運転手と誘導者はとの連携方法を理解し、円滑な操作が出来よう技術を習得する。</li> </ul>
21~60	ハイリフトローダー (HL)	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンルーム内点検、外観から車両の異常、ローラー、ストッパー、等の著しい損傷がないかの点検を実施。</li> <li>・取り扱う上での注意点を理解し、操作方法を理解する。</li> <li>・CD、PDを実際にHLに搭載し、各操作類の取り扱いを理解する。</li> <li>・操作者と誘導者との連携方法を理解し、円滑な操作が出来よう技術を習得する。</li> </ul>



## 2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目					
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース			開講時期	2年次	後期
授業科目名	グランドハンドリング実習Ⅱ-3	担当教員名	田中 陽彦・村山 一成・竹田 啓一・田中 敏・富田 明浩				
授業形態	実習	授業時数	120	単位数	3	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港内におけるグランドハンドリング業務全般の実技及び車両機材の走行、操作をより実践に合わせた形で知識を習得する。						
到達目標 (150文字程度)	車両の点検方法、特性を理解し、フォークリフト、ベルトローダー、ハイリフトローダーの走行、操作、装着技術を習得する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	授業内課	取組み姿勢			
			60%	40%			
教員実務経験	航空会社におけるグランドハンドリング業務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港における機側周りで使用される本物の車両、器材を専用実習場にてより実践に近い形で習得します。						
教科書	書名	航空機のグランドハンドリング			書名		
	書名				書名		
参考書	書名	教員作成のグランドハンドリングテキスト			書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1～20	プッシュバック作業 トーイング作業 (VR) プッシュバック作業 マーシャリング(MAS)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VRの特性を活かし、何故禁止であるか、何故危険であるかを疑似体験する。</li> <li>・VRでのプッシュバック作業を安全に実施出来るよう、危険ポイントや限界点を理解する。</li> <li>・トーイング作業(TW)を安全に実施出来るよう、危険ポイントや限界点を理解する。</li> <li>・VR(PB)から変わり、ダミーシップを使用し、VRで習得した技術を確認する。</li> <li>・機体への影響を理解し、安全にプッシュバック作業が行えるよう技量確認を実施する。</li> <li>・ジャックナイフ現象に至るまでに、作業中止や中断の判断が下せるようにする。</li> <li>・マーシャリングを実施する上での注意点を理解し、安全に誘導出来るようハンドシグナルを習得する。</li> </ul>
21～60	ハイリフトローダー(HL)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両の特性、諸元を理解し、走行並びに機体への装着、離脱における注意点、確認のポイントを理解する。</li> </ul> <b>【実技】</b> エンジンルーム内点検、外観から車両の異常、ローラー、ストッパー、等の著しい損傷がないかの点検を実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り扱う上での注意点を理解し、操作方法を理解する。</li> <li>・機体への装着時の注意点を理解し、走行、操作方法を習得する。</li> <li>・CD、PDを実際にHLに搭載し、各操作類の取り扱いを理解した上で、搭載指示書を基に効率良く搭降載作業を実施する。</li> <li>・操作者と誘導者との連携方法を理解し、円滑な操作が出来るよう技術を習得する。</li> </ul>

## 2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース						
授業科目名	企業研修教育(基礎)	担当教員名	(委託先企業)					
授業形態	実習	授業時数	120	単位数	3	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 就職先企業の早期研修として、空港における実務業務を担当する。 2. 空港スタッフとして求められる航空専門知識の取得と社員としての実務経験を積む。							
到達目標 (150文字程度)	就職先企業における社員としての貢献と円滑な定着及び社会人としての一般常識や経験の蓄積を図る。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
				企業実習評価	勤務状況			
				80%	20%			
教員実務経験	---							
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職はこれからの長い人生の基盤であり、就職先企業の入社当初から社員及び社会人としてのしっかりとした責任意識と役割責任を果たすよう努めて頂きたい。							
教科書	書名				書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~30	基礎座学・初期教育	航空会社の基礎知識の取得と初期教育の定着
31~60	実務業務(基礎)	各空港における基礎的な実務業務の実施

## 2022 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース						
授業科目名	企業研修教育(応用)	担当教員名	(委託先企業)					
授業形態	実習	授業時数	270	単位数	6	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 就職先企業の早期研修として、空港における実務業務を担当する。 2. 空港スタッフとして求められる航空専門知識の取得と社員としての実務経験を積む。							
到達目標 (150文字程度)	就職先企業における社員としての貢献と円滑な定着及び社会人としての一般常識や経験の蓄積を図る。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
				企業実習評価	勤務状況			
			80%	20%				
教員実務経験	---							
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職はこれからの長い人生の基盤であり、就職先企業の入社当初から社員及び社会人としてのしっかりとした責任意識と役割責任を果たすよう努めて頂きたい。							
教科書	書名				書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~75	実務業務(応用)-1	各空港における基礎的な実務業務の着実な実施と円滑な定着
76~135	実務業務(応用)-2	各空港における実務業務の担当範囲の拡張と品質改善